

2024 年度人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：川島佑介

事業区分：学生の教育研究活動支援（1-27）

事項：ゼミ合宿（大子町）への交通費補助

期間：2024 年 11 月 13 日～14 日

現在の学生は、小学生の時に東日本大震災を経験し、青春時代は地方における人口・財政の本格的な縮減期にあたり、高校生・大学生生活はコロナ禍の直撃を受けており、厳しい時代を経験してきた。しかし、厳しい時代だからこそ、広い知識と深い知恵、コミュニケーション力を併せ持つ次世代リーダーの育成が求められる。そこで、行政学ゼミナールでは、①地方都市における産業と生活の観察、②学生同士の親睦の深化を目的として、大子町への一泊二日のゼミ合宿を実施した。

①について：大子町の「袋田の滝」と、その近辺の商店街と宿泊街の様子を観察し、人口減少地域において、観光産業によって地域経済の活性化を図ろうとする様子を観察できた。

②について：大子町の「ホテル奥久慈館」に宿泊し、食事や入浴と共にしながら、日ごろの思いや悩みを語り合うこともできた。また、ホテルでの卓球や、二日目のスポーツ活動によって汗を流し、大いに親睦を深めることができた。

この機会をくださった、人文社会科学部後援会に対して、厚く感謝申し上げる。

旅程表

11/13 水戸駅集合⇒袋田駅⇒袋田の滝を観察⇒ホテル奥久慈館

11/14 ホテル奥久慈館⇒大子町立リフレッシュセンター⇒大子駅⇒水戸駅解散



袋田の滝。
3年生のI君とM君の仲睦まじい姿

袋田の滝。
全員の記念撮影。
青春の1ページになりました



袋田の滝。
紅葉のベストシーズンでした

ホテルでの食事。
全員の記念撮影。
みんなで食事を共にすることは、
いつの時代もかけがえのない思い出です



ホテルでの食事。

こちらは4年生のA君、I君、E君、M君
の記念撮影

二日目のスポーツレクリエーション



ホテルでの卓球。

やはり温泉といえば卓球は外せない

袋田の滝の通路。

滝に至る道でも飽きさせない工夫を
学びました